



活動タイトル	食事つき無料塾「ステップアップ塾」を通じた子どもの貧困対策	団体名	NPO法人 維新隊ユネスコクラブ		
<p>1年間の活動(アウトプット)の目標(事業全体)</p>	<p>【通常授業（学習指導、食事、ココロメンテナンスを実施）】 2018年9月～2月末日：毎週木曜日 2018年度通常授業（祝祭日と12/28～1/8までを除く）25回 2019年4/18～8月末日：毎週木曜日 2019年度通常授業（祝祭日と8/15を除く）18回 【課外授業】 2018年度：9/1、10/20、11/3、1/12、3/2（ゴミ拾い、ハイキング）5回/ 2019年度：5/4、7/6（ゴミ拾い）2回 【Study Camp（トレーラーハウスによる自習室）】 準備：2018年9月～11月/テスト：12月（沿革指導実施に向けたシステム調整とテスト） 試運転及び次年度参加者募集：2019年1月～3月 2019年度スタディキャンプ始動：2019年4月から、平日3日/週稼働（予定）</p>		<p>■活動風景</p>		
	<p>■活動報告</p>		<p>■1年間の目標に対する達成状況</p>		
<p>【通常授業（学習指導、食事、ココロメンテナンスを実施）】 週1回の通常授業と課外授業、ココロメンテナンスを実施した他、夏休みにあたる8月は例年の塾生及びボランティア講師の参加状況を鑑み、通常授業ではなく希望者による申し込み制の夏期講習を実施した。結果として、当初の予定より授業回数を2回多く実施することができたことに加え、夏期講習の内容も充実したものとなった。英単語・数学の小テストについても、より一人一人の学力に応じた内容に改良を続けている。</p> <p>【課外授業】 隔月で行われるゴミ拾いでは、学生ボランティアと一般参加者に塾生が加わって、チームでゴミ拾いを行うイベントを実施した。英会話によるコミュニケーションを取り入れることで、外国人参加者との交流もあり、更に充実した学びの場とすることができた。 10月のハイキングでは、ボランティア講師と塾生との絆を深めることができた。</p> <p>【Study Camp（トレーラーハウスによる自習室）】 内装工事を10月後半～11/17にかけて行い、11/17にはオープニングセレモニーを開催。11/19から運営を開始し、祝祭日を除く月～金の16：00～21：00に自習室として利用登録者に開放した。 沿革指導実施に向けたシステム調整とテストについては、当初の計画より大幅にシステムの調整が必要となり、2019年9月現在も調整中。 年度終わりの3月下旬より、設置場所の移転計画が浮上し、移転候補地が確定しない段階での利用者募集に向けた広報活動は難しいため、現段階では利用登録者数は44名に留まる。 一方で、移転先が確定するまでは、現在の場所で祝祭日を除く平日週5日開催しており、オープンから8月末日までの開催日数は179日、利用者数はのべ561人に上る。</p>	<p>【通常授業（学習指導、食事、ココロメンテナンス）】 ◆学習指導：全45回実施（当初予定より2回増） <アンケート結果> 「学校の成績が上がった」：保護者50.0%、塾生53.6% 「学校での学習態度が改善したとの報告を受けた」：保護者53.8% 「勉強が前より分かるようになった」：塾生71.4% ・塾内テスト(年2回)で1回目よりも偏差値が向上した塾生:42.1% ・志望校受験の可否結果：4人中2人が第一志望に合格（全員高校進学を果たすことができた） ⇒目標の65%には達しなかったが半数程度が学力面の向上を感じている</p> <p>◆食事の提供：全45回実施（当初予定より2回増） <アンケート結果> 「以前より風邪をひかなくなった」：保護者64.2%、塾生17.9% 「以前より気持ちが明るくなった」：保護者42.8%、塾生39.3% 「以前よりよく眠れるようになった」：塾生17.9% ⇒目標の65%には達しなかったが、心身の健康に多少寄与できている</p> <p>◆ココロメンテナンス：ワークショップ年間23回実施（ほぼ当初予定通り） <アンケート結果> 「以前より社会的規範に対する意識が高まった」：保護者92.3% 「毎日の生活の中で不安に思うことはない」塾生69.6%→70.9%へ向上 「自分の将来が楽しみだ。」塾生71.2%→79.1%へ向上 「自分のことが好きだ。」塾生72.8%→76.4%へ向上 「毎日が楽しいと感じる。」塾生84%→86.4%へ向上 ⇒社会性の向上・自己肯定感の向上に大きく寄与したと考えられる</p>		<p>夏期講習の様子</p>  <p>8月は通常授業をお休みにし、希望者による夏期講習を実施しました。通常授業のとおりに、ほぼマンツーマンでの指導ができました。</p> <p>ワークショップの様子</p>  <p>この日のワークは、言葉を発しないでコミュニケーションをするワークでした。</p>		
<p>■1年間の活動のまとめ</p>			<p>■活動成果のアピールポイント（自由記入）</p>		
<p>・当初の計画通りにはほぼ全てのプログラムに取り組むことができたことに加え、夏期講習の実施ができたことや、塾外でも自習の場（トレーラーハウス）を開設することができたことなど、支援の体制の充実化を図れた一年となった。 ・授業においては、新教材の導入ができたことで、進度の遅い塾生や復習が必要な塾生に対するアプローチがしやすくなったこと、また小テストもレベル別に作成したことで、個々の学力に応じた取り組みができるようになった。併せて、週1回の授業であることを活かした授業時間づくりを検討しなおし、4月から実施を開始した。 ・ワークショップでは、計画的・段階的に取り組んでいくことによって内容の充実化を図り、課外授業でも英会話を導入することでより楽しんで活きた勉強に取り組めるよう工夫した。 全体を通じて、僅かな時間の中でどれだけ塾生に良い影響を効果的に与えることができるかを考え、改良を重ねた一年になった。そのことで、一定の効果が表れていることが認められる。</p>	<p>■事業を通じて得られたノウハウ</p> <p>・ボランティア講師として初めて参加するスタッフに対して、授業の進め方や指導の基本方針、禁止事項をまとめたマニュアルを作成し、初回参加者に周知を図った。本マニュアルについては、今後の教室展開に向けたマニュアルを作成する際に活用していく。 ・学力にばらつきがあるクラスの中で、個々の学力に応じたスモールステップを設定し、小テストを作成・運用している。その結果、学力が低い子どもへのアプローチ方法を学ぶことができた。 ・テスト結果から学力に合ったテキストを選定し指導に入れるよう、フロー図を作成し講師全体に周知することができた。 ・塾生のアンケート結果から、勉強に対する考え方や自己肯定感・自己効力感の在り方について、食事やワークショップに期待することなどを把握することができ、特にワークショップについては年間の実施計画に役立てることができた。 ・保護者アンケートを通じて、保護者が塾に対して評価していること・期待している子どもの変化を把握することができた。</p>	<p>■実施した人材育成策</p> <p>・東京ワセダロータリークラブと連携し、学生ボランティア講師の中心的存在の学生がロータリークラブ主催のリーダー育成プログラムに参加した。プログラムを通じて、リーダーとして学生講師のまとめ方、ミーティングの運営方法などを学んだことから、そのノウハウをまとめ今後の運営マニュアルに反映させる予定である。また、今後もプログラム参加に推薦される可能性があることが、学生にとってのモチベーション向上につながっている。 ・学生講師サークルの中で、各活動リーダーを設定して、全体会議の際に各活動の進捗状況の報告や問題提起をルールにしている。</p>	<p>この1年間の活動を通じて</p>	<p>塾生40名ほぼ全員において、学力・健康・自己肯定感・社会性の、いずれかにおける向上</p>	<p>を達成しました。</p>
<p>■受益者の変化（効果測定結果等）</p>			<p>◆学習指導：半数以上の塾生及び保護者が、学力や意欲の向上を感じており、4割程度の塾生が塾内テストでの偏差値を上げ、受験生4人のうち2人が第一志望に合格した。 ◆食事の提供：保護者の半数以上が健康の増進を認め、2～3割程度の塾生自身も心身の健康増進を実感している。 ◆ココロメンテナンス：9割程度の保護者が子どもの社会性の向上を実感し、塾生の8割程度が自分自身や日々の生活、将来について肯定的に捉えている。 <<補記：ボランティア講師アンケート/各5点満点>> 授業満足度3.93、給食満足度4.5、ワークショップ満足度3.68、塾生との精神的交流の満足度4.37</p>		